

優秀賞

おせんたくぐらこぼろこしね

鹿児島県 始良市立加治木小学校一年 亀澤 志保

わたしはいま、せんたくものをたたんでいます。きょうだい三にんでたたんでいます。わたしは、せんたくものを三にんでたたむのが好きです。三にんでたたむとたのしいし、三にんだとはやくおわります。

いつもたたむときは、おねえちゃんがようふく、パジャマはおにいちゃん、ズボンはわたしなど、そのひのやくわりをきめます。たたむときには、

- 一、しわをなくすこと
- 二、えをしたにすること
- 三、みぎのそでとひだりのそでをうちがわにいれて、さいごにはんぶんにおるというじゅんばんでたたむこと

にきをつけてたたんでいます。うちはおとうさん、おかあさん、おにいちゃん、おねえちゃん、わたしの五にんかぞくです。おにい

ちゃんとおねえちゃんは、やきゆうをやっている、きょうだい三にんともすいえいをやっているの、おかあさんがとりこんできたせんたくものは、いつもやまもりです。

たたむとちゅうでおねえちゃんが、おとうさんのズボンをはいてみました。

「うわあ、だぼだぼだあ。」
「あはっ、ほんとうだあ。」

おとうさんはおおきいので、おねえちゃんがかくとおなかとおりこして、くびのところまできました。はんズボンもまるでながズボンのようです。

こんどは、おにいちゃんがシャツをきてみました。

「あはは。おっきいねえ。」

おにいちゃんのひざがかくれてしまいます。

「かして、かして。つぎはわたし。」
わたしもシャツをきてみました。

「わあ、ワンピースみたい。」

みんなでおおわらいです。

おやまのなかから、おにいちゃんのやきゆうのユニフォーム、わたしのくつした、おとうさんのでっかいズボン、おねえちゃんのかわいいはながらのワンピース、おかあさんのおしごとのエプロン、ひとつずつとりだして、きれいにたたみます。どろだらけだったおにいちゃんのユニフォームはまっしろになっていきます。きれいになるときもちがいいです。せんたくってほんとうにすごいな。

「わあ、いいにおい。」

たたむとき、せんざいとおひさまのいいにおいがあるので、わたしはせんたくものをたたむのがだいすきです。

みんなでおしゃべりしながらたたんだら、せんたくものおやまはあっというまになくなりました。

するとおかあさんが、

「みんなありがとう。たすかったよ。」

といいました。それからおかあさんはこっそりいいました。

「しほがいちばんたたむのがじょうずだね。」

わたしは、うれしくてところがぼかぼかしてきま



した。

はあ、たのしかった。あしたもたくさんおせんたくしてね、おかあさん。